



ロケーションサービスパビリオン 展示・セミナー参加のご案内

ワイヤレス・テクノロジー・パーク(WTP)2018
＜2018メインテーマ＞5G×IoT その先の未来へ

■会期:2018年5月23日(水)~25日(金)
■会場:東京ビッグサイト 西3・4ホール、会議棟

- 来場者数 55,000名 ※同時開催展含む目標
- 出展社数 350社 ※同時開催展含む目標
- 同時開催展 ワイヤレスジャパン2018、ワイヤレスIoT EXPO2018
運輸・交通システムEXPO2018、IDE TOKYO ドローンソリューション&技術展2018
- 主催 国立研究開発法人情報通信研究機構、YRP研究開発推進協会、
YRPアカデミア交流ネットワーク
- 運営 日本イージェイケイ株式会社
- WEBサイト <https://www.wt-park.com/2018/>

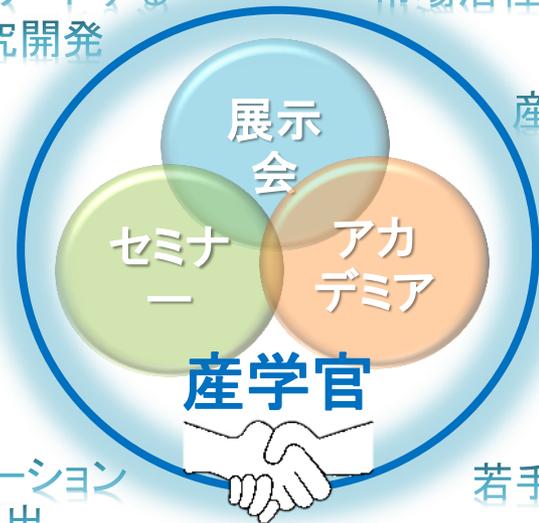
WTPとは?

～10年先、20年先を見据えたワイヤレス技術が集結!～

WTPは、無線通信技術の研究開発に焦点を当てた「展示会」「セミナー」「アカデミアセッション」で構成される、国内最大級のワイヤレス専門イベントです。WTPは、民間企業、教育・研究機関、及び政府・地方公共団体といった産学官連携のもと、企画・開催しております。

世界をリードする
研究開発

市場活性化



産業振興

イノベーション
創出

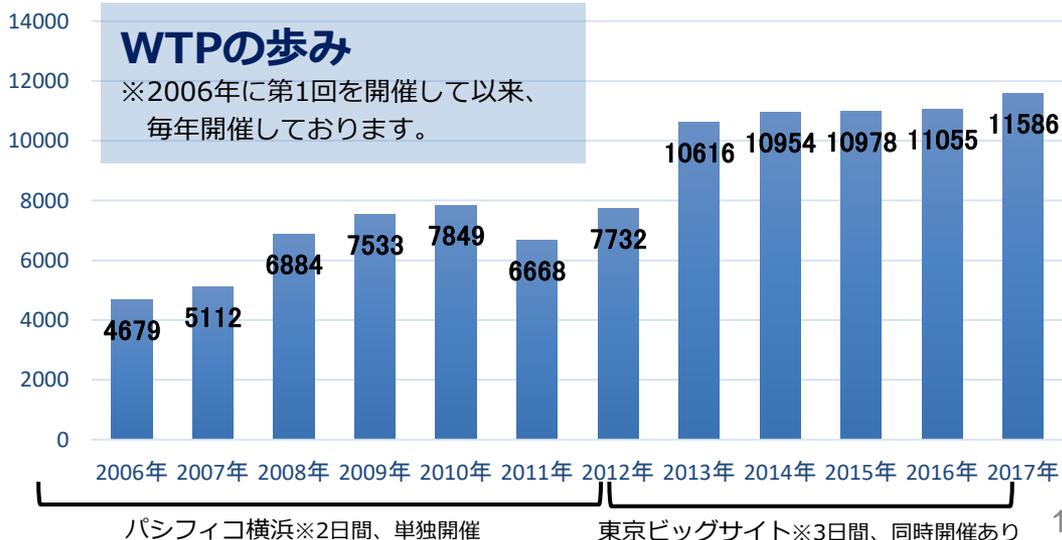
若手育成

ミッション

- 無線通信技術分野における最新の研究開発成果や動向の紹介
- 国際的な産学官の交流を通じた無線通信技術のビジネス展開の加速、及び世界をリードする研究開発の推進

WTP2018 企画展示・セミナー (案)

- 第5世代移動通信システム (5G)
- Internet of Things (IoT)
- 測位・ロケーション技術
- ITS、コネクテッドカー
- 工場向け無線技術・システム
- 極限環境ワイヤレス
- ドローン・ロボット通信



毎年、出展社と来場者の間で、多くの商談が生まれています。

- 新規顧客開拓に
- 既存顧客フォローに
- 開発ニーズのヒアリングに
- 新製品発表に
- 既存製品の新たな切り口での販促に、是非ご出展をご検討ください！

メリット①

ワイヤレス・ネットワークの専門展だから具体的な課題や要望をもつ、専門性の高い来場者と具体的な商談が可能です！

- 通信・放送業界関係者12,000名以上、各種製造メーカー19,000名以上が無線技術とソリューションを求めて来場！！
- 来場者の50%以上が「研究開発」、「設計、エンジニア」、「商品企画」に従事

※同時開催展含む(来場者属性データより)



メリット②

無線に関連した専門性の高いセミナーをテーマに沿って毎日開催し、目的意識の高いユーザーを多数誘致します！

- 聴講者数：約16,497名※同時開催展含む(2017年実績)



メリット③

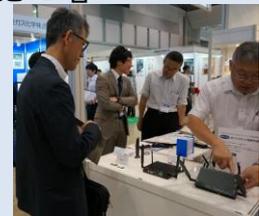
ターゲットとなる顧客層へ効率よく貴社製品やサービスの訴求を行えます！

『数千名のターゲット層に対し、展示やセミナーを通して一度にアプローチが可能！』

『Webや紙媒体ではなかなか伝わらない製品やサービスの特徴を、
実機を見せながら直接訴求可能！』

- 最大名刺交換数：600枚以上！ 出展社満足度85%！

※出展社アンケートデータより



測位技術と測位技術を活用したソリューションを効率的にユーザーへPR!

IoTとも密接なかかわりをもつ測位技術、特に製造業などでは人や物の効率的な移動管理による業務の効率化のため、屋内測位が実装され始めています。

また準天頂衛星が4機体制となり、より精度の高い測位が可能となったことで、測位ソリューションの活躍の場は飛躍的に広がっています。

WTP2018では会場内にロケーションサービスパビリオンを設置し、実機やデモ展示を行うとともに、測位研究の最前線を走る団体や企業のセミナーを多数実施し、来場者の理解を深めるとともに、出展社とのマッチング機会を作ります。

[前回の測位展示企業・団体]

アイサンテクノロジー、衛星測位利用推進センター、ジェナ、準天頂衛星システムサービス、測位衛星技術、測位航法学会/IPIN2017、東京海洋大学、名古屋大学/Lisra、日本ジー・アイ・ティー、マルティスープ、ユビセンス、立命館大学

[前回の講演機関]

ロケーションサービス～IoTに必要な衛星測位、屋内測位、位置情報利用～

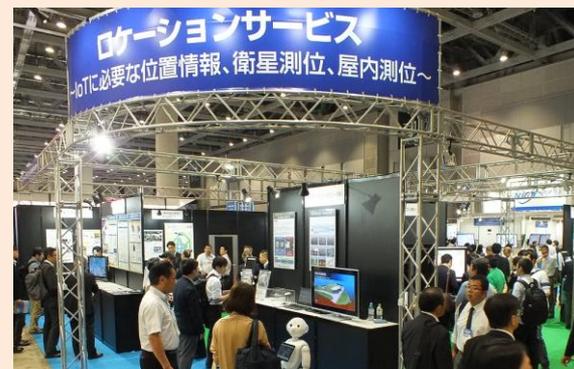
- ・東京海洋大学 海洋工学部 准教授 久保 信明 氏
- ・日本電気 宇宙システム事業部統合システム部 プロジェクトディレクター 曾我 広志 氏
- ・衛星測位利用推進センター シニアアドバイザー 松岡 繁 氏
- ・アイサンテクノロジー 研究開発知財本部 部長 細井 幹広 氏
- ・立命館大学 情報理工学部 教授 西尾 信彦 氏
- ・マルティスープ セールスGr. 原口 俊 氏
- ・日本IBM東京基礎研究所 コグニティブ・コンピューティング技術リーダー 高木 啓伸 氏
- ・ソフトバンク テクノロジーユニット システム戦略室 担当課長 小和田 香 氏

IoTを支える位置情報1～屋内測位～

- ・名古屋大学 未来社会創造機構 教授 河口 信夫 氏
- ・ユビセンス RTL5ビジネスユニット セールスマネージャー 宇田 浩一 氏
- ・東京慈恵会医科大学 先端医療情報技術研究講座 准教授 高尾 洋之 氏

IoTを支える位置情報2～衛星測位～

- ・東京海洋大学 海洋工学部 名誉教授 安田 明生 氏
- ・早稲田大学 高等研究所 助教 鈴木 太郎 氏
- ・測位衛星技術 技術本部 ハードウェア開発部 副部長 小神野 和貴 氏



ロケーションサービスパビリオンの出展メリット 潜在顧客を発掘する絶好のチャンス！

1テーマの下にまとまって出展することで、目的意識の高い来場者とのマッチングの確率が高まり、低予算で準備に労力をかけない来場者との交流が実現します！

① 圧倒的な存在感で強力にアピール。出展効果がアップ！

1社単独ではなく、測位を活用したアプリケーションや技術を扱う企業が集まることで、単独出展では実現できない多くの来場者を引き付けることができ、ビジネスに有効な来場者と交流ができます。

② 展示パビリオン内及び展示会場内特設セミナー会場にて講演ができる！

サービスの具体的な利用方法や活用メリットを会場に集まった数十名の来場者へまとめてPRすることで、より効率的に営業活動を行っていただけます。
また、受講後に関心の高いユーザーを展示ブースへ誘導することで、より具体的な商談を行うことが可能です。

③ メディア露出も期待できる！

④ 測位体験エリアでの実機デモ可能！ (予定)



展示会

出展機関数: 計113機関(前年実績: 112機関)



総来場者数: **50,574名** ※同時開催展を含む

内訳	天気	2017年	2016年
5月24日(水)	晴れ	16,260 ↑	14,603
5月25日(木)	曇り	15,528 ↑	13,077
5月26日(金)	雨のち曇り	18,786 ↓	19,428
合計		50,574 ↑	47,108

3,466名(7%)増加

WTP2017来場者数: **11,586名** ※同時開催展からの流入を除く

内訳	2017年	2016年
5月24日(水)	3,760 ↑	3,233
5月25日(木)	3,633 ↑	2,906
5月26日(金)	4,193 ↓	4,916
合計	11,586 ↑	11,055

531(5%)増加

セミナー

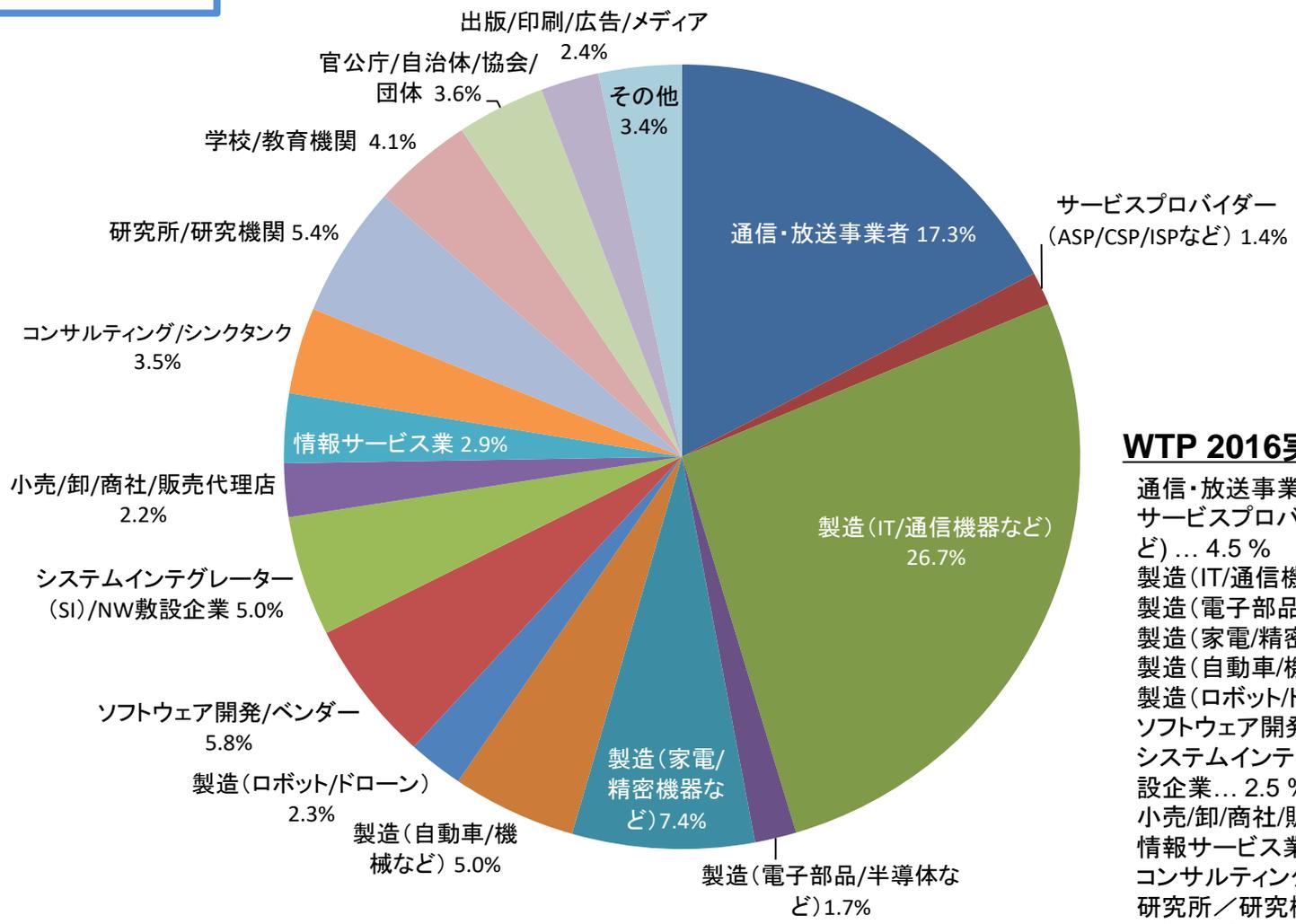
講演件数: 計125件(前年実績: 112件)
 延べ聴講者数: 9,820名(前年実績: 6,474名)

アカデミアプログラム

ポスターセッション参加校数: 9校(前年実績12校)
 電子情報通信学会 スマート無線研究会

技術展示: 15件

来場者の業種

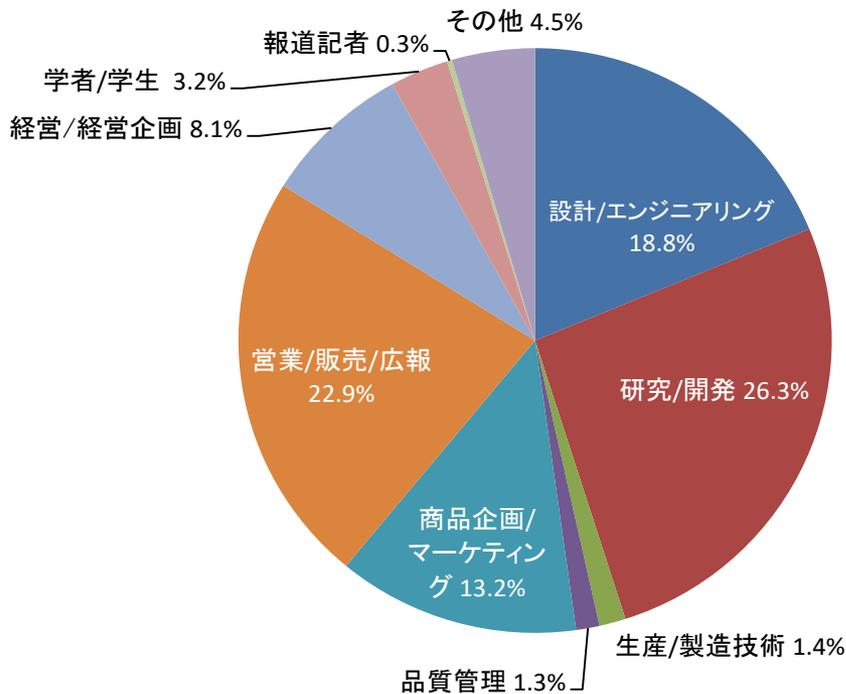


WTP 2016実績

- 通信・放送事業者...17.7%
- サービスプロバイダー(ASP/CSP/ISPなど) ... 4.5%
- 製造 (IT/通信機器など)... 10.9%
- 製造 (電子部品/半導体ど)...2.6%
- 製造 (家電/精密機器など)... 11.1%
- 製造 (自動車/機械など)... 6.7%
- 製造 (ロボット/ドローン)... 2.3%
- ソフトウェア開発/ベンダー ... 8.9%
- システムインテグレーター (SI) / NW敷設企業... 2.5%
- 小売/卸/商社/販売代理店 ... 2.9%
- 情報サービス業... 4.2%
- コンサルティング/シンクタンク... 4.9%
- 研究所/研究機関 ... 5.3%
- 学校/教育機関 ... 0.7%
- 官公庁/自治体/協会/団体... 6.1%
- 出版/印刷/広告/メディア... 2.9%
- その他... 5.7%

前年に比べ、IT・通信機器の製造業社が
15%増加

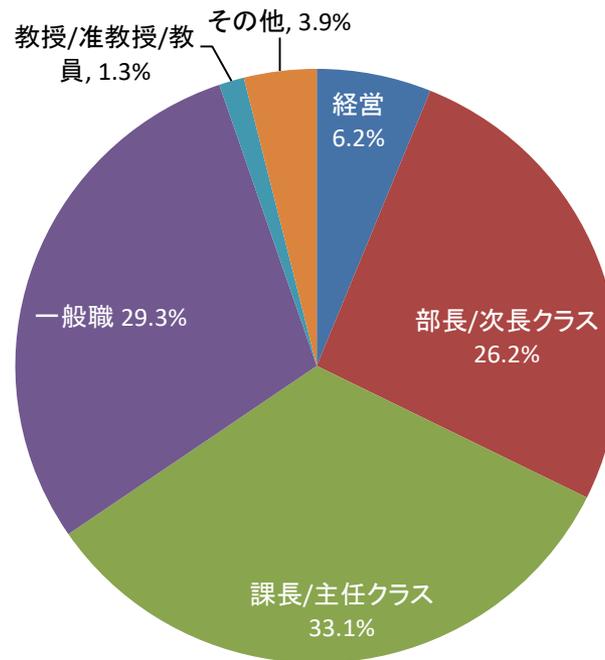
来場者の職種



2016年実績

設計/エンジニアリング... 18.2 %
 研究/開発... 27.2 %
 生産/製造技術... 1.0 %
 品質管理... 1.2 %
 商品企画/マーケティング... 12.1 %
 営業/販売/広報... 22.2 %
 経営/経営企画... 7.4 %
 学者/学生... 2.1 %
 その他... 8.5 %

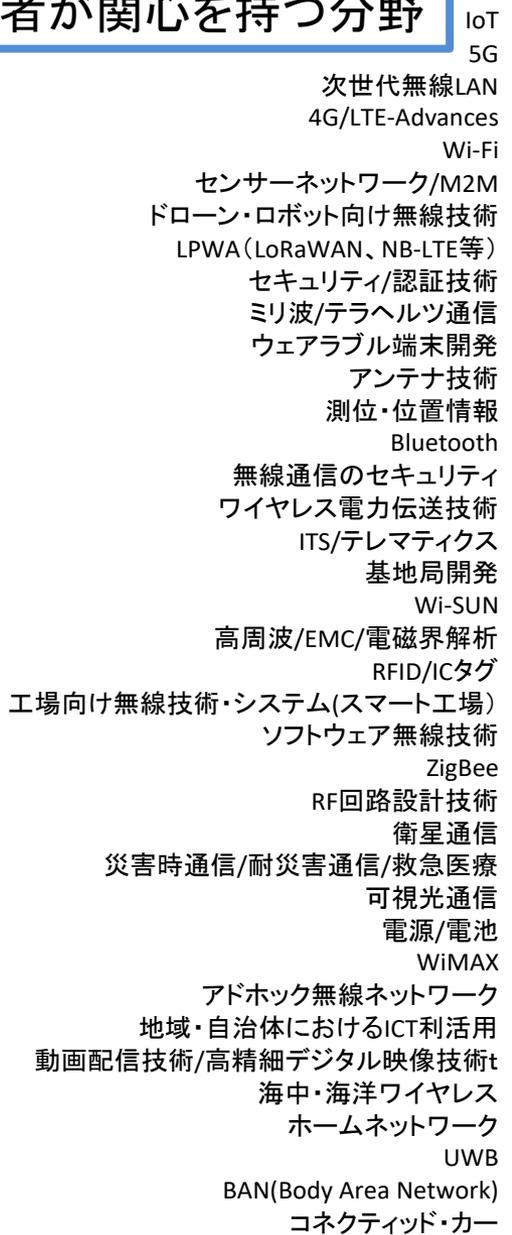
来場者の役職



2016年実績

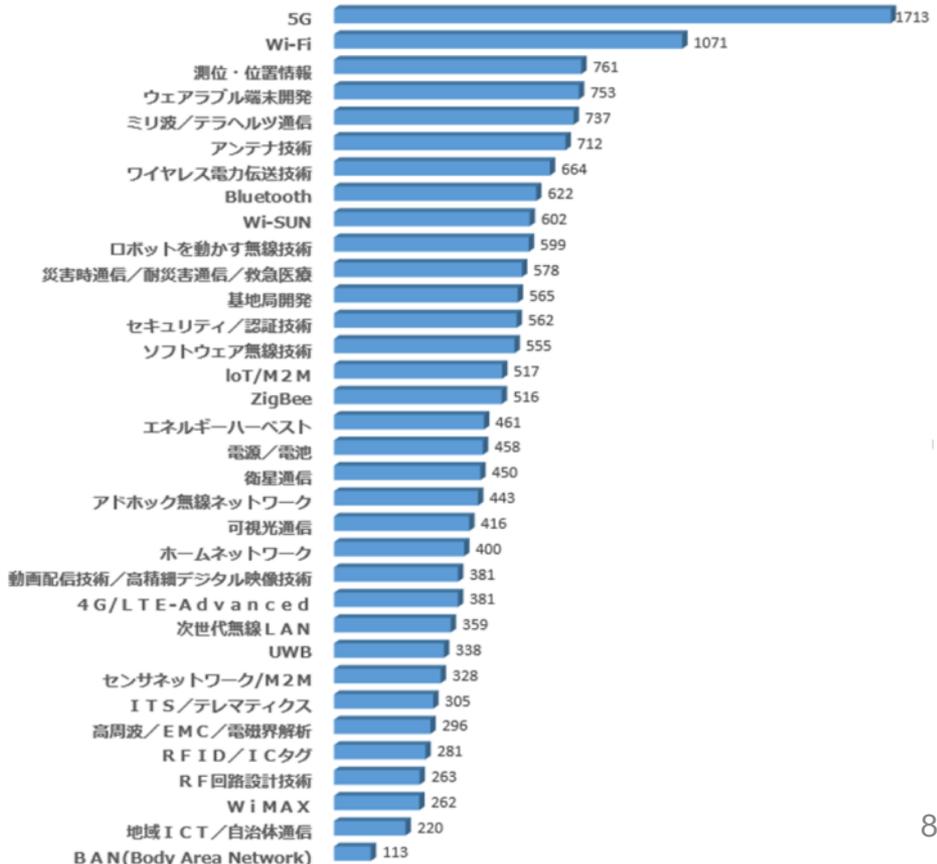
経営... 6.5 %
 部長/次長クラス... 26.7 %
 課長/主任クラス... 29.9 %
 一般職... 31.6 %
 教授/准教授/教員... 1.0 %
 その他... 4.4 %

来場者が関心を持つ分野

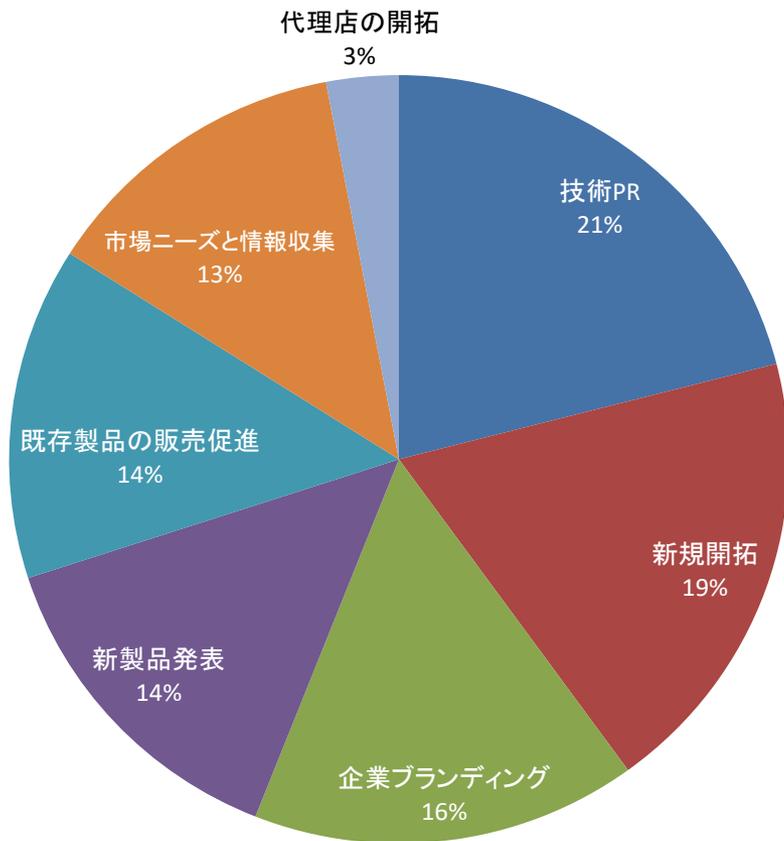


IoTと5Gへの関心が急増！

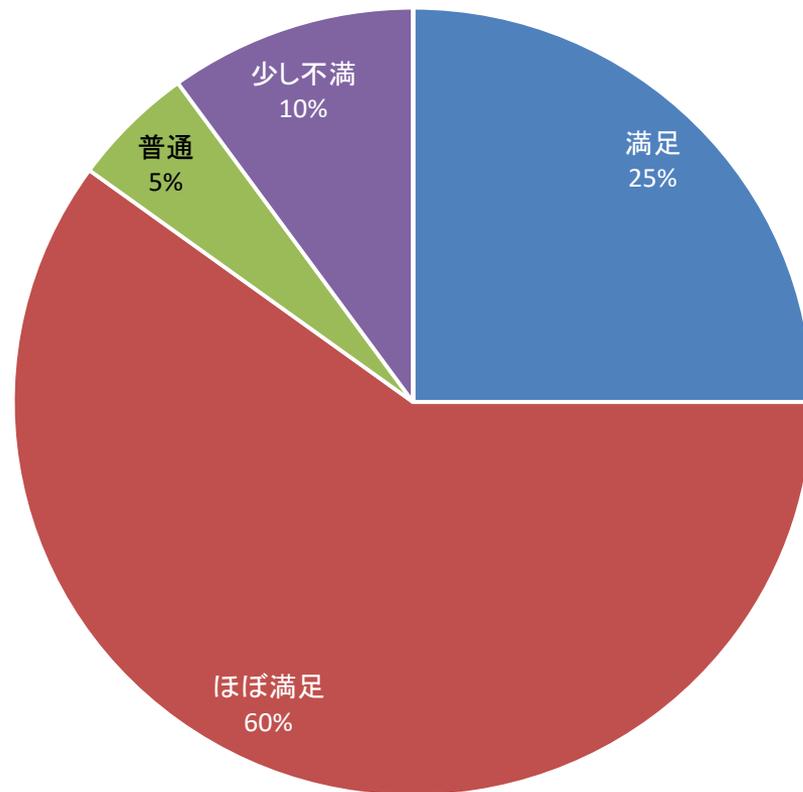
WTP 2016の場合



出展目的



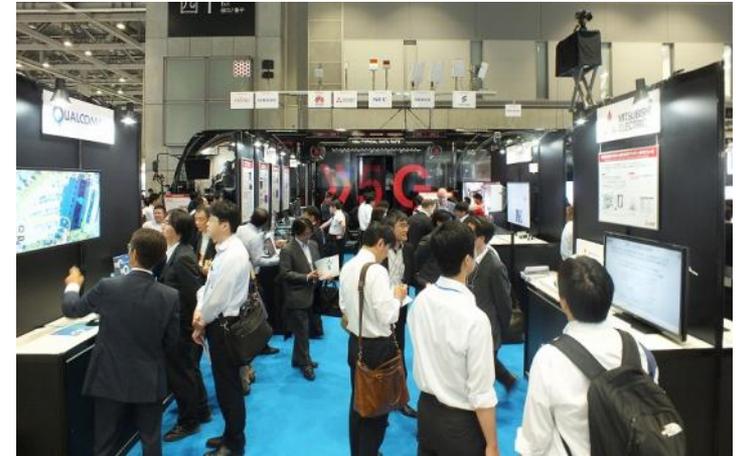
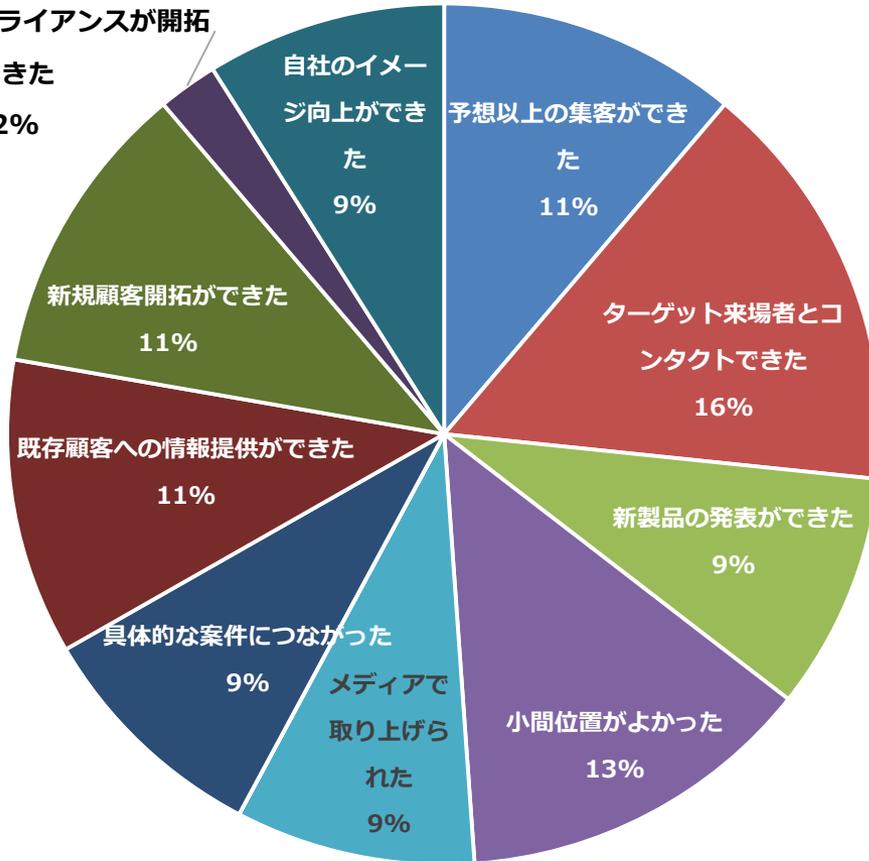
出展満足度



出展機関の8割以上が出展に満足と回答

出展成果

パートナー/アライアンスが開拓
できた
2%



来場者と交換した名刺・・・平均124枚
第1位:430枚、第2位:300枚、第3位:250枚

今後引き合いが見込める商談件数
・・・平均10.2件



出展社が希望する2018年のテーマ

- ・5G
- ・IoT
- ・ミリ波
- ・次世代交通(自動走行、次世代都市交通)
- ・自動車関連の最新無線技術
- ・準天頂衛星システムの実用化開始
- ・極限環境ワイヤレス
- ・光衛星通信の動向
- ・テラヘルツ技術
- ・Flexible Factory Project

合計113機関(2016年実績:112機関)※同企業他部署による複数出展を含む

アイダックス、アイ電子、アンリツ、インタープラン、AWR Japan (National Instruments)、NTTドコモ/日本電信電話、M2Mソリューションズ、神奈川県/明光電子、KDDI総合研究所/KDDI、構造計画研究所、コーンズ テクノロジー/マイクロウェブファクトリー、情報通信研究機構、小峰無線電機、Sequans Communications、情報工房、情報通信技術委員会(TTC)、CommAgility,Limited./スターブリッジ、ZTEジャパン(ゼットティーイージャパン)、テレコムエンジニアリングセンター(TELEC)、電波産業会、デンマーク大使館、東京計器アビエーション、東京都立産業技術研究センター、東陽テクニカ、日新システムズ、日本テレガートナー、日本電気、日本無線、日立国際電気、ファラッド、ブール・ジャパン、富士通、丸文、三菱電機エンジニアリング、YRP研究開発推進協会/ブロードバンドワイヤレスフォーラム、ワイヤレス・パワー・マネジメント・コンソーシアム(WPMC)



■ITSパビリオン

アイサンテクノロジー、NTTドコモ、総務省、パナソニック

■5G Tokyo Bay Summitパビリオン

アンリツ、インテル、NTTドコモ、エリクソン・ジャパン、キーサイト・テクノロジー、QUALCOMM、サムスン電子ジャパン、日本電気・ALSOK、日本ナショナルインスツルメンツ、ノキアソリューションズ&ネットワークス、パナソニック、華為(ファーウェイ)技術日本、富士通、三菱電機、メディアテック、ローデ・シュワルツ・ジャパン

■IoT時代の地域課題解決コーナー

会津若松市、総務省、前橋市/ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構

■Flexible Factory Projectパビリオン～製造現場における監視・管理への無線通信活用～

NEC、NEC通信システム、オムロン、サンリツオートメーション、情報通信研究機構、富士通

■ロケーションサービスパビリオン ～IoTに必要な位置情報、衛星測位、屋内測位～

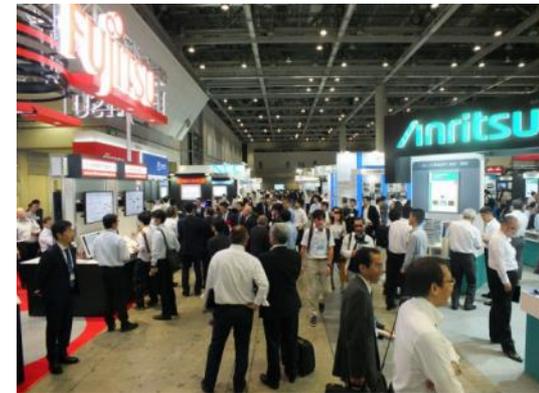
アイサンテクノロジー、衛星測位利用推進センター、ジェナ、準天頂衛星システムサービス、測位衛星技術、測位航法学会/IPIN2017、東京海洋大学、名古屋大学/Lisra、日本ジー・アイ・ティー、マルティスーフ、ユビセンス、立命館大学

■アカデミアポスターセッション参加校 (展示日5/24・25)

上智大学 理工学部 情報理工学科 林研究室、諏訪東京理科大学 工学部コンピュータメディア工学科 松江研究室、電気通信大学 先端ワイヤレスコミュニケーション研究センター 山尾研究室、東京工業大学 工学院 電気電子系 広川研究室、東京電機大学 情報環境学専攻 宮保研究室、東京電機大学 ワイヤレスシステム研究室、東洋大学 電気電子情報工学科 藤野研究室、横浜国立大学 工学部 電子情報工学科 河野研究室、立命館大学 MEMS情報通信研究室

■電子情報通信学会 スマート無線研究会技術展示(展示日5/26)

明石工業高等専門学校、京都大学、情報通信研究機構、信州大学、電気通信大学、東京工業大学、東京農工大学、東京理科大学、東北大学、富山工業高等専門学校、新潟大学、日本工業大学、NEC、パナソニック、福岡大学、Fraunhofer



プレスリリース、及び記事掲載媒体数:81媒体

- 【新聞・雑誌】** NTT技術ジャーナル/電気通信協会、オートメーション新聞/オートメ新聞、科学新聞/科学新聞社
 建設通信新聞/日刊建設通信新聞社、COMPASS/リックテレコム、自動車タイムス/自動車タイムス社、
 石油ガス・ジャーナル/石油ガス・ジャーナル株式会社、通信興業新聞/通信興業新聞社、電気新聞/日本電気協会新聞編集局、
 電子デバイス産業新聞/産業タイムズ社、電波新聞/電波新聞社、電波タイムズ/電波タイムズ社、日刊自動車新聞/日刊自動車新聞社、
 日刊放送ジャーナル/放送ジャーナル、日経コミュニケーション/日経BP社、日経産業新聞/日本経済新聞社、
 燃料油脂新聞/燃料油脂新聞社、農経しんぼう/農経新報社、BUSINESS COMPUTER NEWS/BCN、
 Fuji Sankei Business i./日本工業新聞社、物流ウィークリー/物流産業新聞社、メカトロニクス/Gichoビジネスコミュニケーションズ、
 見本市展示会通信/ピーオーピー
- 【WEB】** 朝日新聞デジタル&M/株式会社朝日新聞社、@DIME アットタイム/株式会社小学館、@niftyビジネス/ニフティ株式会社、
 AFPBB News/株式会社クリエイティブ・リンク、iza(イザ!)/株式会社産経デジタル、e燃費/株式会社イード、
 minkabuニュース/株式会社みんかぶ、インターネットコム/インターネットコム株式会社、
 Infoseekニュース/楽天株式会社、エキサイトニュース/エキサイト株式会社、msn 自動車/マイクロソフト株式会社、
 EnterpriseZine(エンタープライズジン)/株式会社翔泳社、OSDN Magazine/OSDN株式会社、
 OKWAVE Guide/株式会社オウケイウェイヴ、おたくま経済新聞/C.S.T Entertainment,Inc.、
 沖縄タイムス+プラス/株式会社沖縄タイムス社、CAR CARE PLUS/株式会社イード、
 carview! カービュー/ヤフー株式会社・株式会社カービュー、株探/株式会社みんかぶ、
 価格.com - 新製品ニュース/株式会社カカクコム、GAZOO.com/トヨタ自動車株式会社、
 Cubeニュース/株式会社キューブ・ソフト、gooニュース/エヌ・ティ・ティ レゾナント株式会社、
 グノシー/株式会社Gunosy、現代ビジネス/株式会社講談社 交通政経新聞社、財經新聞/株式会社財經新聞社、
 産経ニュース/株式会社産経デジタル、SEOTOOLS/ブラストホールディングス株式会社、
 JBpress(日本ビジネスプレス)/株式会社日本ビジネスプレス、時事ドットコム/株式会社時事通信社、
 CNET JAPAN/朝日インタラクティブ株式会社、週刊BCN+/株式会社BCN、ジョルダンニュース!/ジョルダン株式会社、
 STRAIGHT PRESS/株式会社マッシュメディア、ZDNet Japan/朝日インタラクティブ株式会社、
 ダイヤモンド・オンライン(Diamond Online)/株式会社ダイヤモンド社、
 電波受験界/一般財団法人情報通信振興会、dメニューニュース/株式会社NTTドコモ、
 Techable(テッカブル)/株式会社マッシュメディア、東洋経済オンライン/株式会社東洋経済新報社、
 とれまが/株式会社サイトスコープ、DroneTimes、日経プレスリリース/株式会社日本経済新聞社、
 日報ビジネス株式会社、NewsCafe/株式会社イード、
 BIGLOBEニュース/NECビッグロブ株式会社、Bizloop(ビズループ)サーチ/株式会社アイエフネット、
 ビジネスネットワーク.jp/株式会社リックテレコム、フレッシュアイ/株式会社スカラコミュニケーションズ、
 PR TIMES/株式会社PR TIMES、PRESIDENT Online/株式会社プレジデント社、
 MarkeZine(マーケジン)/株式会社翔泳社、マイナビニュース/株式会社マイナビ、
 マピオンニュース/株式会社マピオン、Yahoo!ニュース/ヤフー株式会社、
 読売新聞(YOMIURI ONLINE)/株式会社読売新聞社、レスポンス/株式会社イード、RBBTODAY/株式会社イード

運営事務局では出展頂く皆様に成果を出して頂くために、各種サポートプランを準備させて頂いております。

会期前

DM・招待券の無償提供

事務局から貴社名を掲載したDM(招待券)を必要枚数をご提供させていただきます。
 既存顧客、及び営業先リストへ配布いただくことで、展示会を有効なクロージングの場としてご利用いただけます。
 また本DM及び招待券は来場対象者約70,000件に対して事務局より送付しております。



展示会招待券在中

ターゲティングメールの送信による会期前告知（会期後も可能です）

事務局で保有する来場者データ約70,000件の中から、業種、カテゴリーなどを絞ったメール配信を行うことが可能です。貴社で行うセミナーの情報や展示製品の情報などの事前告知にお使いください。
 ※料金はP18の料金表をご参照ください



会期中

誘導看板やWebバナーによる会場内でのブース誘致

公式HPでの貴社バナーの掲載や、会場内の受付看板や誘導看板、ガイドマップなど、来場者の目に留まる場所に貴社広告を掲載することが可能です。
 ターゲットとなる来場者との商談率のUPにご使用ください。
 ※詳細はお問い合わせください。



興味の高い来場者を集めた出展社プレゼンテーションの開催

会場内、及び会場外の特設会場にて、事前登録制のセミナー枠をご準備させていただきます。
 貴社のセミナーテーマに興味をもった来場者を一堂に集めることで、効率的にPRを行っていただけます。
 ※料金はP18の料金表をご参照ください

バーコードシステムによる会期中営業の効率化

ブースに来た来場者の名刺情報や、業種、関心のあるテーマ、決裁権の有無など情報を、バーコードを読み取るだけで効率的に収集することが可能です。
 ※料金はP18の料金表をご参照ください



会期後

ターゲティングメールの送信による会期後告知

会期前のターゲティングメール同様、実際に来場したデータに対し業種、カテゴリーを絞ったメール配信を行うことが出来ます。
 会期後の御礼や、自社サービスのセミナーや説明会の紹介等にお使いください。 ※料金は〇〇



◆充実したセミナーで来場者を惹きつけます！

- ➡ 最新のワイヤレストピックスをテーマにしたセミナーを開催します。展示とセミナーを連動させ、目的を持った来場者の誘致を図ります。

2016年のセミナー受講者数：目的意識の高い約17,000人※を動員

※同時開催展含む



◆メール配信やDMによる告知活動！

- ➡ 展示会過去来場者を中心とした70,000件を超えるデータベースを活用した主催者からのメール配信、DM発送。
また、後援団体や業界団体から会員各社への告知も積極的に行います。
出展社には、希望枚数分のDMを無料提供。顧客に送付してブース来訪を促してください。

◆業界専門誌、メディアパートナーとの広報活動！

- ➡ 業界メディアとタイアップし、開催告知等のプロモーション活動を実施します。
また、マスコミ各社へのプレスリリース発信により来場誘致をすすめます。

NTT技術ジャーナル、オートメーション新聞、科学新聞、建設通信新聞、COMPASS、自動車タイムス、石油ガス・ジャーナル、通信興業新聞、電気新聞、電子デバイス産業新聞、電波新聞、電波タイムズ、日刊自動車新聞、日刊放送ジャーナル、日経産業新聞、燃料油脂新聞、農経しんぼう、BUSINESS COMPUTER NEWS、Fuji Sankei Business i.、物流ウィークリー、メカトロニクス、朝日新聞デジタル&M、AFPBB News、e燃費、エキサイトニュース、msn 自動車、CAR CARE PLUS、carview! カービュー株探、価格.com - 新製品ニュース、GAZOO.com、Cubeニュース、gooニュース、グノシー、現代ビジネス、財経新聞、産経ニュース、JBpress (日本ビジネスプレス)、時事ドットコム、CNET JAPAN、週刊BCN+ZDNet Japan、ダイヤモンド・オンライン (Diamond Online)、電波受験界、dメニューニュース、Techable (テッカブル)、東洋経済オンライン、DroneTimes etc
多くのメディアにて、会期前～会期後にかけて出展・講演の情報が報道されました！
※2017年実績

◆出展製品情報をWEBに掲載！

- ➡ 出展社情報、製品情報を無料掲載します。また事務局からの来場誘致メールでも出展社情報を配信してブースへの来場者誘導を計ります。



メインテーマ「新時代の価値を創造する ～5G+IoTの挑戦～」

- 会 期: 2017年5月24日(水)～26日(金) ■会 場: 東京ビッグサイト西1ホール、商談室
- 同時開催: ワイヤレスジャパン2017/ワイヤレスIoT EXPO2017、運輸・交通システムEXPO2017、IDE TOKYO-ドローンソリューション & 技術展-2017
- 主催: 国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)、YRP研究開発推進協会、YRPアカデミア交流ネットワーク
- 実行委員長: 齋 昭男 YRP研究開発推進協会 会長
- 特別顧問: 羽鳥 光俊 東京大学 名誉教授
- 顧問: 土居 範久 慶應義塾大学 名誉教授
- 実行委員: 秋本 丈仁 横須賀市経済部 部長
- 梅田 成視 日本無線株式会社 研究所 理事
- 浦辺 和夫 京浜急行電鉄株式会社 取締役 グループ戦略室長
- 大森 慎吾 一般社団法人YRP国際連携研究所 代表理事 所長
- 雄川 一彦 富士通株式会社 エグゼクティブフェロー
- 尾上 誠蔵 株式会社NTTドコモ 取締役常務執行役員 R&Dイノベーション本部長
- 加藤 数衛 株式会社日立国際電気 映像・通信事業部 技師長
- 川村 龍太郎 日本電信電話株式会社 未来ねっと研究所 所長
- 平田 哲彦 株式会社日立製作所 IoT・クラウドサービス事業部 本部主管
- 手島 俊一郎 日本電気株式会社 顧問
- 楯岡 信一 神奈川県 産業労働局長
- 門脇 直人 国立研究開発法人情報通信研究機構 理事
- 中嶋 信生 電気通信大学 産学官連携センター長 特任教授
- 中島 康之 株式会社KDDI総合研究所 代表取締役所長
- 服部 武 上智大学 理工学部 客員教授
- 平田 康夫 株式会社国際電気通信基礎技術研究所 代表取締役社長
- 長島 洋 株式会社横須賀テレコムリサーチパーク 代表取締役専務

【五十音順 敬称略】

- 後援団体: 総務省、神奈川県、横須賀市、(一社)電気学会、(一社)電子情報通信学会、(公社)自動車技術会、(公社)土木学会、(一社)日本建築学会、(一社)測位航法学会、(一社)日本生体医工学会、(一財)テレコムエンジニアリングセンター、(一財)日本ITU協会、(一社)情報通信技術委員会、(一社)情報通信ネットワーク産業協会、(一社)全国陸上無線協会、(一社)テレコムサービス協会、(一社)電波産業会、(一社)電気通信事業者協会、(一社)電子情報技術産業協会、(一社)日本ケーブルテレビ連盟、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、新世代M2Mコンソーシアム、IMESコンソーシアム、(独)日本貿易振興機構、(一財)電波技術協会、(特非)ITSジャパン、日本無人機運行管理コンソーシアム(JUTM)、スマートIoT推進フォーラム、京浜急行電鉄(株)
- 特別協力: (株)横須賀テレコムリサーチパーク
- アカデミア後援団体: IEEE VTS Tokyo Chapter、電子情報通信学会 無線通信システム(RCS)研究会、電子情報通信学会 モバイルネットワークとアプリケーション(MoNA)研究会、電子情報通信学会 衛星通信(SAT)研究会、電子情報通信学会 スマート無線(SR)研究会
- 協賛: 情報通信月間推進協議会
- 運営事務局: 日本イージェイケイ(株)

出展料金

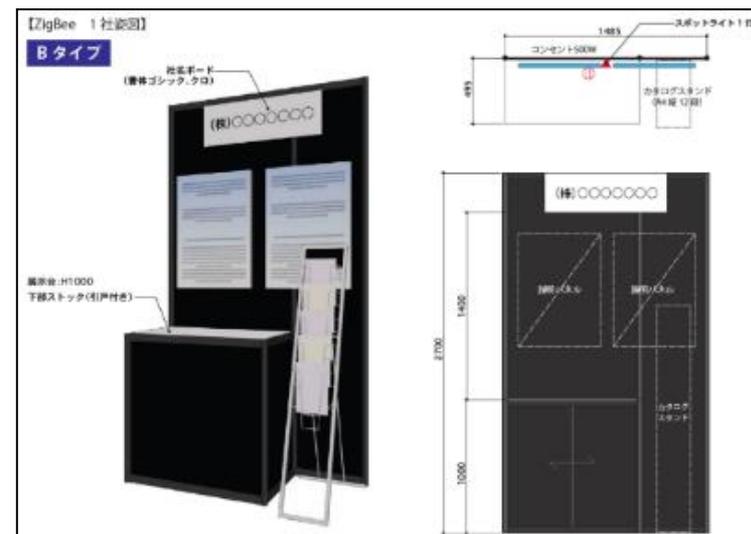
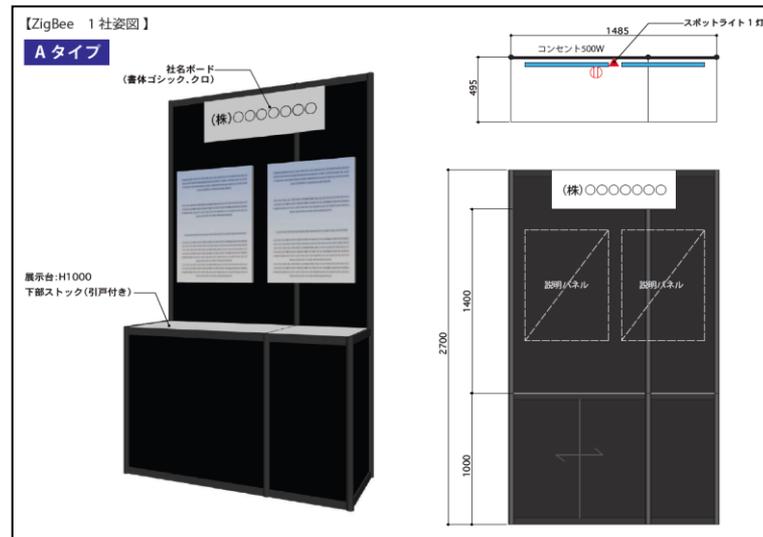
□ 1ブース・・・¥400,000 (税別)

□ 2ブース・・・¥700,000 (税別)

料金に含まれるもの：

- ・測位セミナー講演枠
- ・ミニブース (下記のAタイプがBタイプ)
(幅1485mm×奥行495mm)
- ・ハロゲンスポットライト1灯 ・カーペット
- ・500Wコンセント2口 ・社名版
- ・電気工事 (500Wまでの使用料含む)

※ 3ブース以上も可能です。お気軽にご連絡ください。



追加オプション

■ 出展社プレゼンテーション: 216,000円/セッション (20分間)

*約200名のセミナー登録者データの提供を含む

■ バーコードシステム: 54,000円

*EXCELデータ作成、データ納品までを含めた料金、ご納品までには8営業日程度を予定しております。

■ ターゲティングメール: 108,000円/配信

*送信時期は事務局からの案内メール送信時に行わせていただきますのでご相談ください。

■ WEBバナー広告: 108,000円

*掲載は事前登録が開始となる2017年3月下旬から6月末までを予定しております。

■ 会場内広告各種

*詳細はお問い合わせください。

詳細は、運営事務局までお問い合わせください。

出展問合せフォーム

WTP2018開催概要

会期：2018年5月23日（水）～25日（金） 会場：東京ビッグサイト 西3・4ホール、会議棟

（同時開催：ワイヤレスジャパン2018/ワイヤレスIoT EXPO2018、
運輸・交通システムEXPO2018、IDE TOKYO ドローンソリューション&技術展2018）

【1】お問合せ内容：

出展したい 出展を検討したい 展示会について詳しい話を聞きたい 同時開催展について知りたい

【2】希望小間数：_____ 小間

【3】ご決定時期：_____ 年 _____ 月頃

【4】その他ご要望など（例）「企画してもらいたいテーマ」、「商談したい来場者層」

御社名：_____

所属/役職：_____

ご担当者名 _____

TEL: _____

E-mail: _____

名刺

WTP2018運営事務局

日本イージェイケイ株式会社（担当：鎌田）

【お問合せ・お申込み】

〒105-0011東京都港区芝公園1-2-6 ランドマーク芝公園7F

TEL: 03-6459-0444 FAX: 03-6459-0445

E-mail: tech-wtp@ejk-japan.co.jp

▼ このままお送りください FAX:03-6459-0445 ▼